

寄せられた御意見の概要と市の考え方

No.	該当箇所	御意見・提案内容（要旨）	市の考え
1	P15	旧市内の市街地であっても雪下ろし・雪かきは大きな負担である。人口流出を防ぎ、若返りを図るには、非積雪地域から移住される方などでも不自由なく生活できる街づくりが重要であることから、雪下ろしなどが不要な高層住宅の供給と、徒歩圏内で日用品の買い物ができる店舗の誘致に力を入れるべきと考える。	関係部署及び民間事業者等と連携を図りながら、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
2	P16	むやみに市街地を拡大せず、適正なサイズにとどめ、生活サービスの質を高める考え方に賛同。 交通弱者に優しい「まちなか居住区域」とマイカーも活用できる「郊外居住区域」の2本立てが現実的であるが、後者の場合でもなるべく公共交通機関が使えるエリアを優先すべきであり、幹線道路の円滑な交通を妨げるような開発は抑制する必要がある。	立地適正化計画等の関連計画と連携・整合を図りながら、いただいたご意見を参考とさせていただきます。
3	P18	若者が地元から通勤できるよう、そして地元で定住できるよう新幹線定期代の補助を検討すべきと考える。また、学生向けにも新幹線通学を支援できればいい。	ご意見を参考に、具体的な施策については関係部署と検討させていただきます。
4	P18	高齢者ドライバーによる交通事故が大きな社会問題となっていることから、運転免許証を自主返納された方には、公共交通機関の運賃割引だけでなく、電車・バスが使えるエリアへの移住を支援するなど優遇措置を設けるべきと考える。また、不要になった不動産の売却や解体にも支援が必要と考える。	ご意見を参考に、具体的な施策については関係部署と検討させていただきます。
5	P18 P19 P29	電車・バスが満足に使えない郊外に新興住宅地が増えている状況は好ましくない。将来的にはバス路線の縮小・減便も心配されるため、電車の利用を促進する方が持続可能と考える。今後の宅地開発は郊外駅周辺エリアを優先するよ	立地適正化計画などの関連計画と連携・整合を図りながら、いただいたご意見を参考とさせていただきます。

		う、不動産業者等の協力も必要である。 郊外駅前に高齢者用マンションや市営住宅の建設、医院や保育園、スーパーなどを誘致し、交通弱者に優しい街づくりをお願いしたい。 電車を利用して長岡駅まで買い物や遊びに行く人が増えれば、中心市街地の活性化にも寄与する。	
6	P19	重要性を鑑み、「住生活に広く関連する産業や研究」の中に交通も盛り込むべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
7	P28 P29	基本方針 1-(1)-①・②、(3)-①について、カーフリーを求める市民や移住希望者が今後増加することが予想されるため、ニーズを取り込むという視点を盛り込む必要がある。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
8	P29	基本方針 1-(3)-②について、「歩いて暮らせる住生活の確保」とあるが、確保だけでなく広報も重要と考える。 また、基本方針 1-(4)-①に関しても、公共交通の利便性など不足しがちな情報については、不動産業者・公共交通機関とともに情報発信を検討する必要がある。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
9	P29	基本方針 1-(3)-②に「公共交通のサービスの水準維持」とあるが、維持だけでなく可能な限りの拡充が求められる。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
10	P31 ほか	「良質な住宅」はたびたび登場する表現だが、目標実現のための具体性を持たせるため、まだあまり意識されていない新しい「良質」さの明記が重要と考えられる。消費増税対策でも盛り込まれた高生産性住宅の流れを長岡にしっかりと定着させる必要があり、その整備促進を明記すべき。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
11	P31 P33 P34	基本方針 1-(2)、2-(2)-①について、「交通環境整備」と加筆が必要である。 また、基本方針 3-(2)-②についても同様に、公共交通の意味合いをはっきりと含む必要があると考える。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。

12	P32	まちなかの空き家について、景観や防犯の面でも早期に対応が必要と考える。特に長岡駅周辺など利用価値の高い場所については、一時的に市が買い取るなどして再開発に有効活用できるようにすべき。	ご意見を参考に、具体的な施策については関係部署と検討させていただきます。
13	P33 P42	公営住宅は、環境や地場産業（特に一次・二次）に配慮して建設することが重要であり、その旨の記載が必要である。	計画期間において新規に建設する予定はないため、原文のとおりとさせていただきます。
14	P33	基本方針 2-(4)-①を、克雪住宅について普及だけでなく研究開発も促進する内容とすべき。長岡技術科学大学などと連携した取り組みを想定し記述する必要があると考える。また、克雪だけでなく利雪も盛り込んだ内容とすべき。	「…新たな技術に基づいた、長岡らしい克雪の住まいづくりの研究や継承を支援」と記載しておりますが、ご意見を参考に文言を精査いたします。
15	P34	火災報知器だけでなく防火住宅の普及にも力を入れるべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
16	P34	雨水貯留槽について、節水や地震災害時の生活用水確保にもつながる旨記載してはいかがか。	制度の趣旨を踏まえ、原文のとおりとさせていただきます。
17	P34 P38 P45	賃貸住宅の老朽化・低価値化・低収益化の悪循環を止め、もって良質な民間賃貸住宅の確保と景観・地域住環境の向上につなげるため、「リフォームや、リフォームのための住民の一時退去などへの支援」を提案する。	個人住宅に対するリフォーム支援を実施しておりますが、ご意見にある取り組みについては今後の検討とさせていただきます。
18	P34 P41	中古住宅市場の活性化については、それにより資産としての住宅という側面を強固にし、もって必要に応じた住み替えの支援にもつなげていく旨記述すべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
19	P35	基本方針 3-(3)-①の緑化の推進について、文章自体の間違いでないなら、取り組み（前半）が結果（後半）につながる理屈を明確にすべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
20	P39 P40 P41	基本方針 3-(3)、4-(1)、4-(2)に、(地場)木材の利用や木造住宅への支援について盛り込むべき。また、できれば、木造という良質な住まいに高層住宅であっても住めるよう、最新技術を利用した高層木造建築の建造を産官が連携して推進する旨盛り込むべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。

21	P40	基本方針 4 について、持続可能でスマートな住生活という観点から、重度の車社会の脱却と、公共交通整備を記述すべき。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
22	P40	基本方針 4-(1)-②について、長岡には都市計画や文化財建造物の保存・活用を専門に含む長岡造形大学が存在することから、造形大学と連携して、長岡の景観について先回りかつ先進的な議論が行われるような取り組みを望む。	関係部局及び大学と連携を図り、ご意見にあるような取り組みができないか検討させていただきます。
23	P41	古い建材には高価値のものも多いため、周知が必要である。無為に廃棄されているものも多いと考えられる。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
24	P42	基本方針 2-(1)について、生活に困窮する世帯にとって、公共交通は生活改善を実現する手段としての役割を持ち得ることから、公的住宅供給にあたっては公共交通の利便性や周知について内容の拡充が必要である。	まずは公的住宅の供給を検討するために記述したものであり、ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
25	P64	学術機関の役割を拡充し、景観について記載が必要。また、各学術機関・関係者が自らが果たせる役割の積極的な開拓を行うように促す必要を明記すべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。
26	P65	関連分野との連携にについて、交通・林業とも連携する旨、記述すべき。	ご意見を参考に、文言を精査いたします。